

報道資料

令和3年10月18日

1 件 名	Yumehaku Art&Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』 オリジナル食器『香積水器』及び『香積水器箱』の販売について
2 内 容	<p>令和3年10月22日（金）～24日（日）に開催を予定しております標記イベントのためにアーティスト船越雅代氏が監修した器と食具『香積水器』及びオリジナルの箱に一式を詰めたセット商品『香積水器箱』を予約販売します。</p> <p>なお、『Osmosis 滲透』及び関連イベント『朝茶時』開催時に、『香積水器』の商品展示を行います。</p> <p>【販売概要】 予約開始日：10月21日（木） ※なくなり次第終了 販売場所：SELECT YUMEHAKU（JR新山口駅2階[新山口駅観光交流センター内]） オンラインショップ（https://osmosis2021.base.shop）</p> <p>※商品の詳細につきましては、別添資料を御覧ください。 ※取材の詳細につきましては、10月14日付けの報道資料を御覧ください。</p>
3 問い合わせ	山口市交流創造部山口ゆめ回廊博覧会推進室（担当：入口・柳井） 電話 083-934-4152

2021年10月18日

報道関係者各位

山口ゆめ回廊博覧会
Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』
『香積水器』および『香積水器箱』販売
10月21日(木) 予約開始



山口ゆめ回廊博覧会実行委員会は、Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透 (オズモウシス しんとう)』で使用した『香積水器(こうしゃくすいき)』を2021年10月21日(木)よりSELECT YUMEHAKUとオンラインストアにて予約販売いたします。(『Osmosis 滲透』および関連イベント『朝茶時』開催時に『香積水器』の展示します)

『香積水器』とは、今回のためにアーティストの船越雅代が監修した器と食具です。船越とともに美術家・林 智子がデザイン、かしわ製作所(代表：柏 良治)が制作したオリジナルの箱に『香積水器』一式を詰めたセット商品『香積水器箱(こうしゃくすいきばこ)』も15組限定で販売いたします。箱の素材には山口の古材を使用し、圏域で収穫した山野草をブレンドした香り高いお茶を詰めてお渡しいたします。

『香積水器箱』は、大内氏時代の瑠璃光寺が『香積寺』と呼ばれていたことや、寺院の厨房を意味する『香積』に着想を得て、山口の自然の恵みからいただいた香りを積んでいくという意味を込めて、圏域の魅力をこの一箱に詰めました。おもてなしにも適した大皿を中心としたセットとなります。ぜひご自宅の食卓でも、『Osmosis 滲透』の世界観をお楽しみください。

Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』 『香積水器』販売概要

予約開始日：10月21日(木) ※なくなり次第終了

販売場所：SELECT YUMEHAKU (JR新山口駅2階[新山口駅観光交流センター内]) およびオンラインストア (<https://osmosis2021.base.shop> ※10月21日(木)オープン予定)

お届け時期：11月30日(火)以降順次発送予定

【単品商品『香積水器』】



Photo: Yujiro Sagami

左から

・琉璃紋器(るりもんき) ¥11,000(税込) 制作：伊藤太一(ガラス/山口市) 販売数10
水の波紋と琉璃色が特徴の、ガラス皿として制作を依頼。温度により液体から固体に変化するガラスの性質が、水の特性と似ていることから『Osmosis 滲透』の世界観を象徴する商品。

・珠光杯(じゅこうはい) ¥6,600(税込) 制作：伊藤太一(ガラス/山口市) 販売数10
海底から生まれ、そして弾ける泡のように、真珠のような光の玉を内包するグラス。

・透泉盃(とうせんはい) ¥5,500(税込) 制作：伊藤太一(ガラス/山口市) 販売数10
泉が湧きあがり、渦を巻いていくような形状が特徴の盃。



Photo: Yujiro Sagami

左から

・此土皿(このつちぎら) ¥16,500(税込) 制作：間鍋竹士(陶芸/防府市) 販売数10
満月をイメージした丸い形が特徴の、重厚感のある皿。山口県の山々に足を運び、この器のために選んだ土をブレンドして作られた。

・月鏡鉢(げっきょうばち) ¥9,900(税込) 制作：間鍋竹士(陶芸/防府市) 販売数10
水を湛えた器に月を映す皿。月夜の晩に、国宝 瑠璃光寺五重塔を望む満月の庭で開催する『Osmosis 滲透』を象徴する器。

・匙箸(すじょ) ¥9,900(税込)

制作：柏良治[食具/山口市]・富田潤二[大内塗/山口市] 販売数10
大内氏のはじまりは、百済国聖明王の第3王子・琳聖太子と伝えられていたことから、韓国の食具をイメージして、柏に制作を依頼。山口県産の木地で製作し、仕上げに大内塗を施している。商品名の「すじょ」は韓国語で匙と箸のセットをあらわす。

【セット商品『香積水器箱』】



販売価格：¥95,000（税込）

同梱内容：琉璃紋器・珠光杯・透泉盃・此土皿・月鏡鉢・匙箸

※写真はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

監修：船越雅代（Farmoon）

デザイン：林 智子

制作：かしわ製作所

アーティスト・プロフィール



船越雅代

Pratt Instituteで彫刻を専攻後、料理に表現の可能性を見出す。NYの料理学校 Institute of Culinary Education卒業。Blue HillをはじめとするNYのレストランに勤めた後、ヨーロッパからアジアを放浪。オーストラリア船籍の客船のシェフとして太平洋を巡り、バリの老舗ホテルTandjung Sariのシェフを務め、2012年から拠点を京都に移し、国内外で、その土地を食文化、文化人類学、歴史などの視点から掘り下げ、食で表現する活動を展開する。2018年より京都Farmoon 主宰。

林 智子（美術家）

幼少期に暮らしたアメリカの広大な砂漠地帯にある科学者の街ロスアラモスと京都の豊かな自然を原風景に、人と人、人と自然との交感によって生まれる親密な関係性と繋がりをテーマに身体性を介在させたインタラクティブ作品を制作。国内外で科学技術、自然科学、伝統工芸、料理などの専門家と分野を超えたコラボレーションや作品発表をおこなっている。

柏 良治（食具／山口市）

かしわ製作所代表。店舗や事務所、住宅などの家具・建築デザインだけでなく、カトラリーなどのプロダクトデザインを主におこなう。Yumehaku Art & Food in RURIKOJI『Osmosis 滲透』では、初めて大内塗とのコラボレーションをおこなう。

伊藤太一(ガラス/山口市)

山口県周南市(旧徳山市)生まれ。アメリカのコミュニティカレッジで陶芸を学ぼうちにガラスの魅力に魅せられ、タイラー・スクール・オブ・アートでガラス工芸を学ぶ。帰国後、富山ガラス造形研究所で学び、2004年に山口市徳地にて個人工房『たいちガラスアート』設立。ベネチアガラスの技術のアレンジした吹きガラスの手法で、繊細なガラス作品を生み出す。

間鍋竹士(陶芸/防府市)

山口県の土や釉薬のみを使用して「山口県の土の器」を制作する。陶芸に適したブランド土は一切使用せず、県内の山々に足を運び、土、石、鉱物を捜し求め、さまざまな土をブレンドしながら、その作品に合うものを配分。また、無農薬・無化学肥料の米を作り、その藁の灰で釉薬を作るなど、自然の恵みや流れのなかで常に新しい試みの作品を探求・制作する。

富田潤二(大内塗/山口市)

富田大内塗3代目。前・大内塗漆器振興協同組合理事長で、大内塗唯一の伝統工芸士。2015年山口県文化功労賞ほか、受賞多数。大内塗物教室を主宰し、後継者の育成や体験を通じて漆器の魅力の発信するなど、伝統の伝承に大きく貢献した。2021年3月に70歳で逝去。

Yumehaku Art & Food in RURIKOJI『Osmosis 滲透(オズモウシス しんとう)』開催概要

京都で食とアートの空間『Farmoon』を営むアーティストの船越雅代が、食とアートで山口を表現する3日間限定のイベント。山口の豊かで美しい水が育んだ食材や文化から見出した

『Osmosis 滲透』という言葉テーマに、音楽・パフォーマンスとともに空間を演出し、このイベントのために創作した特別なコース料理をご提供します。

日時：10月22日(金)～10月24日(日) 開場17:30 開演18:00

会場：香山公園 瑠璃光寺五重塔・満月の庭 周辺(山口県山口市)

料金：12,000円(税込)

定員：各回とも20名

【山口ゆめ回廊博覧会に関するお問い合わせ】

山口ゆめ回廊博覧会実行委員会事務局(山口市交流創造部山口ゆめ回廊博覧会推進室内)

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

TEL：083-934-4152 Fax：083-934-2649 E-mail：kenouhaku@city.yamaguchi.lg.jp

【本件・広報に関するお問い合わせ】

NPO法人 BEPPU PROJECT 担当：坂井

〒874-0933 大分県別府市野口元町2-35 菅建材ビル2階

TEL：0977-22-3560 Fax：0977-75-7012 E-mail：info@beppuproject.com